

## 歩行教室



最近、児童が登校中に自動車事故に巻き込まれるニュースをよく耳にします。湯来南小学校の子どもたちが、そんな事故に巻き込まれては、大変です。

そこで、今年度は広島市にお願いして「歩行教室」を開催していただきました。市役所の道路管理課より5名の指導員の方が来られ、指導していただきました。

今月初めの7日(木)に、1年生を対象に体育館で行いました。

仮設の横断歩道や信号そして踏切があり、1年生の子どもたちは、何が始まるのかと楽しみに目をまん丸にしていました。

「横断歩道では、右を見て左を見て、もう一度右を見てわたりましょう。」

「子どもは小さくて見えにくいので手を上げて、車からも見えやすいようにして横断してください。また、旗を持つともっと車から見えやすいですよ。」

「信号のある横断歩道を渡る時は、半分までは右を見て、半分からは左を見て渡りましょう。」

と、とても分かりやすくお話していただきました。お話を聞いた後は、体育館に仮設された横断歩道や信号などを実際に、旗を持って歩く学習をしました。どの子も真剣な表情でしたが、緊張しているのか旗を持って歩く姿はロボットのような様子でした。

また、絵や写真を見ながら、「こんな歩き方は、なぜ危ないのか」「どうしていけないのか」を繰り返し考え、学習しました。1年生の子どもたちは、一生懸命に考えて自分の言葉で理由を伝えていました。

「黄色のランドセルカバーをしていますか？」

「黄色のワッペンを付けていますか？」

「黄色い帽子をかぶっていますか？」と尋ねられました。

1年生の子どもたちは、元気よく「はい。」と答えていました。

「黄色は、よく目立つので交通安全のため、自分の身を守るために、ぜひ身につけてくださいね。」と言われました。

みんな一生懸命に学習したので、「上手にできましたね。」と誉めていただきました。

最後に、「交通ルールを守って、自分の身は、自分で守るようにしましょう。」と伝えていただきました。

3月まで、保護者と一緒に幼稚園や保育園の送り迎えをしてもらっていた1年生です。一人で道路を横断することにまだ慣れていなくて、事故に遭わないかと一番不安な学年です。この1時間で学習したことを、繰り返し学校でも指導し、子どもたちが交通事故に遭わないようにしていきたいと思えます。

地域では、登校時や低学年の下校時には、見守りの方が通学路に立ってくださっています。また、PTAの校外活動部の方が、見守りをしてくださっています。総務部の方は、合同見守り活動もしてくださっています。

まちぐるみで、子どもたちの安全に気を配ってくださり、本当に、本当にありがたくて、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

しかし、登下校だけでなく、家に帰ってから遊びに出たり、外に出かけたりするときにも、危険がいっぱいです。

2年生以上の児童にも、「歩行教室」で指導されたことを学校でも指導していきます。ご家庭でも話題にしていたり、学校と家庭が連携して子どもを交通事故から守っていきたくて、と思っています。

秋には、3年生を対象にした「自転車教室」を行います。自転車の正しい乗り方についても、学習していく予定です。7月には、「防犯教室」を行います。

子どもたちの周りでは、危険なことがおこりやすいです。いつも、大人が側にいるとは限りません。だから、「自分で、自分の身の守る方法」を身につけておくことが、とても大切となるのです。

どの子も、この1年間元気な姿で登校して来られると嬉しいです。そんな気持ちで、毎朝、子どもたちの元気な笑顔に会えるのを楽しみに、正門で子どもたちを迎えています。

